



## リカバリ CD の使用

アプライアンスにハードディスククラッシュなどの致命的な障害が発生し、NAM アプリケーションを起動できなくなった場合、リカバリ CD を使用して Cisco NAM 2220 アプライアンスの NAM アプリケーションソフトウェアを再インストールできます。



(注) 第 6 章「NAM 設定のバックアップおよび復元」の情報は、致命的な障害からの回復の準備に役立ちます。

リカバリ CD を使用して NAM アプリケーションイメージを再インストールすると、アクセス可能な位置にコンフィギュレーションファイルを保存していれば、コマンドラインインターフェイス (CLI) を使用して最新のコンフィギュレーションファイルを復元できます。詳細については、「[設定のバックアップ](#)」(P.6-1) を参照してください。

リカバリ CD は、NAM ソフトウェア キット (部品番号 NAM-APPL-SW-5.1) の一部です。

## リカバリ CD の起動

リカバリ CD から Cisco NAM 2220 アプライアンスを起動すると、NAM アプライアンス コンソールには一時的にブートローダのウィンドウが表示されます。このウィンドウが 10 秒間表示された後、Cisco NAM 2220 アプライアンスは自動的に NAM アプリケーションソフトウェアを起動します。

リカバリ CD を使用する場合は、[helper] を選択し、10 秒以内に Enter を押してヘルパーユーティリティメニューを表示します。そうしないと、Cisco NAM 2220 アプライアンスを再起動しなければならない場合があります。

リカバリ CD を使用するには、次の手順を実行します。

**ステップ 1** Cisco NAM 2220 アプライアンスの前面パネルの DVD-ROM ドライブに NAM ソフトウェア リカバリ CD-ROM を挿入します。

**ステップ 2** NAM コンソールまたはコマンドラインから、**reboot** コマンドを入力します。

Cisco NAM 2220 アプライアンスではリセットが実行され、GNU GRUB ブートローダが起動し、[図 F-1](#) に示されるウィンドウが表示されます。このウィンドウは約 10 秒間表示され、NAM アプリケーションソフトウェア ([図 F-1](#) の NAM-AP) の代わりにヘルパーユーティリティを起動するように選択できます。

図 F-1 GNU GRUB ブートローダ

```

GNU GRUB version 1.96

|-----|
|NAM-AP  |
|helper  |
|        |
|        |
|        |
|-----|
2057/95

```

手順に従って、**^** および **v** のキーを使用して強調表示するエントリを選択します。選択した OS を起動するには **Enter** を、起動前にコマンドを編集するには **e** を、GNU コマンドラインを使用するには **c** を押します。

**ステップ 3** **v** キーを使用して [helper] を選択し、Enter を押します。

ヘルパー ユーティリティ メニューが図 F-2 のように表示されます。

図 F-2 ヘルパー ユーティリティ メニュー

```

=====
Cisco Systems, Inc.
Network Analysis Module (NAM2200) helper utility
Version 1.1 (0.5-Eng)

-----
Main menu
1 - Download application image and write to HDD
2 - Download application image and reformat HDD
3 - Install application image from CD
4 - Display software versions
5 - Reset application image CLI passwords to default
6 - Change file transfer method (currently ftp/http)
7 - Send Ping
n - Configure network
r - Exit and reset Services Engine
h - Exit and shutdown Services Engine

Selection [1234567dnfrh]:

```

オプションの詳細については、次の項、ヘルパー ユーティリティ メニュー オプションを参照してください。

## ヘルパー ユーティリティ メニュー オプション

ここでは、「ヘルパー ユーティリティ メニュー」、各オプション、特定のオプションを使用するための要件について説明します。



(注)

メニュー項目 1 および 2 を使用する前に、まずメニュー項目 n を使用してアプライアンスのネットワーク パラメータを設定する必要があります。

ヘルパー ユーティリティ メニューの最上位レベルの可能な選択肢は、1、2、3、4、5、6、7、d、n、f、r、および h です。

## オプション n: ネットワークの設定

アプライアンスのネットワーク パラメータを設定するには、**オプション n** を使用します。

**ステップ 1** [Configure Network Interface] メニューが表示されたら、**2** を入力して手動で設定します。

```
-----
Configure Network interface:
1 - Use application image configuration
2 - Configure manually
3 - Show config
r - return to main menu
```

Selection [123r]: **2**

**ステップ 2** アプライアンスの IP アドレス、ネットマスク、およびデフォルト ゲートウェイを入力するよう求められます。

```
Enter IP configuration:
IP address []: 172.20.122.93
netmask []: 255.255.255.128
default gateway []: 172.20.122.1
```

```
-----
Configure Network interface:
1 - Use application image configuration
2 - Configure manually
3 - Show config
r - return to main menu
```

Selection [123r]

**ステップ 3** [Configure Network] メニューのオプション 3 を使用してネットワーク設定を確認します。

Selection [123r]: **3**

```
eth0      Link encap:Ethernet  HWaddr 00:0E:0C:EE:50:3E
          inet addr:172.20.122.93  Bcast:172.20.122.127  Mask:255.255.255.128
          UP BROADCAST RUNNING MULTICAST  MTU:1500  Metric:1
          RX packets:210 errors:0 dropped:0 overruns:0 frame:0
          TX packets:0 errors:0 dropped:0 overruns:0 carrier:0
          collisions:0 txqueuelen:1000
          RX bytes:13632 (13.3 KiB)  TX bytes:0 (0.0 b)
```

```
Kernel IP routing table
Destination      Gateway          Genmask          Flags Metric Ref    Use Iface
172.20.122.0     0.0.0.0         255.255.255.128 U        0      0 eth0
0.0.0.0         172.20.122.1   0.0.0.0         UG       0      0 eth0
```

```
-----
Configure Network interface:
1 - Use application image configuration
2 - Configure manually
3 - Show config
r - return to main menu
```

Selection [123r]:

## オプション 1 : アプリケーション イメージのダウンロードと HDD への書き込み

オプション 1 を使用する前に、まずオプション n を使用してネットワークを設定します。

オプション 1 を使用して、NAM アプリケーション イメージのバージョンを FTP サーバからダウンロードし、ハードディスク ドライブにイメージを書き込みます。このオプションは、ネットワーク接続、およびヘルパー メニュー項目 n を使用した Cisco NAM 2220 アプライアンスのネットワーク パラメータの設定を必要とします。

このオプションでは、FTP の場所または **http** を使用してアクセスできる場所に保存したイメージをダウンロードできます。次の URL から NAM ソフトウェアの最新バージョンをダウンロードできます。

<http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/nam-appl>

この URL では、シスコ サービス契約が必要です。また、インターネットにアクセスして zip 圧縮されたソフトウェアをダウンロードする必要があります。

## オプション 2 : アプリケーション イメージのダウンロードと HDD の再フォーマット

オプション 2 を使用する前に、まずオプション n を使用してネットワークを設定します。

オプション 2 を使用して、NAM アプリケーション イメージをダウンロードし、ハードディスク ドライブにイメージを書き込みます。このオプションは、FTP サーバまたは **http** を使用してアクセスできる場所から NAM アプリケーション イメージのバージョンをダウンロードします。

このオプションを使用すると、アプリケーション イメージを書き込む前にハードディスク ドライブが再フォーマットされ、レポートまたはデータ収集などのすべてのデータが破棄されます。

Cisco.com から最新バージョンをダウンロードすることもできます。

## オプション 3 : CD からのアプリケーション イメージのインストール

リカバリ CD から NAM アプリケーション イメージをインストールするには、オプション 3 を使用します。このオプションは、ネットワークに接続できない場合や、以前にアーカイブした NAM ソフトウェアのバージョンをダウンロードできない場合に必要となる可能性があります。



(注)

リカバリ CD で入手可能な NAM ソフトウェアのバージョンは、ソフトウェアの最初のリリースで、パッチやアップグレードはありません。このオプションを使用する場合は、「設定の復元」(P.6-2) を参照してください。

このオプションは、アプリケーション イメージを書き込む前にハードディスク ドライブを再フォーマットし、レポートまたはデータ収集などのすべてのデータを破棄します。

## オプション 4 : ソフトウェア バージョンの表示

ハードディスクに保存されている現在の NAM アプリケーション イメージ バージョンを表示するには、オプション 4 を使用します。

```
Selection [123456789dnfrh]:5
```

```
-----
```

```
NAM application version: 5.1(1)
```

```
Selection [123456789dnfrh]:
```

## オプション 5 : アプリケーション イメージ CLI パスワードのデフォルトへのリセット

ユーザ root および admin のパスワードをデフォルト値にリセットするには、**オプション 5** を使用します。

## オプション 6 : ファイル転送方式の変更

ファイル転送方式を変更するには、**オプション 6** を使用します。このオプションは、ファイル転送方式を誤って変更した場合にのみ必要です。**FTP** および **http** だけがサポートされます。

```
Selection [123456789dnfrh]: 7
-----
Change file transfer method menu
The current file transfer method is ftp/http.
1 - Change to FTP/HTTP
r - return to main menu
```

## オプション 7 : ping の送信

ping を送信してネットワーク接続があるかどうかを確認するには、**オプション 7** を使用します。プロンプトが表示されたら、ping を送信する位置の IP アドレスまたは完全なドメイン名を入力します。

```
IP address to ping []: 172.20.122.91

Sending 5 ICPM ECHO_REQUEST packets to 172.20.122.91.
PING 172.20.122.91 (172.20.122.91) 56(84) bytes of data.
64 bytes from 172.20.122.91: icmp_seq=1 ttl=64 time=0.151 ms
64 bytes from 172.20.122.91: icmp_seq=2 ttl=64 time=0.153 ms
64 bytes from 172.20.122.91: icmp_seq=3 ttl=64 time=0.125 ms
64 bytes from 172.20.122.91: icmp_seq=4 ttl=64 time=0.102 ms
64 bytes from 172.20.122.91: icmp_seq=5 ttl=64 time=0.166 ms

--- 172.20.122.91 ping statistics ---
5 packets transmitted, 5 received, 0% packet loss, time 4000ms
rtt min/avg/max/mdev = 0.102/0.139/0.166/0.025 ms
```

## オプション r : サービス エンジンの終了とリセット

新しくインストールした NAM アプリケーション イメージを再起動する前に NAM アプライアンスをリセットするには、**オプション r** を使用します。

**オプション r** を使用する前に、CD ドライブからリカバリ CD を取り出して、NAM アプライアンスがアプリケーション イメージを起動できるようにします。

## オプション h : サービス エンジンの終了とシャットダウン

NAM アプライアンスをリセットし、シャットダウンするには、**オプション h** を使用します。

```
-----
Option h for recovery CD
Selection [123456789dnfrh]: h
About to exit and reset NAM.
Are you sure? [y/N] :y
Stopping internet superserver: inetd.
Stopping OpenBSD Secure Shell server: sshd.
```

```

Stopping internet superserver: xinetd.
Stopping internet superserver: xinetd-ipv4.
: done.
Shutting down NAM (NAM2200), part 1:
Stopping klogd . . .
Stopping syslogd . . .
Sending all processes the TERM signal... done.
Sending all processes the KILL signal... done.
Unmounting remote filesystems... done.
Deactivating swap...done.
Unmounting local filesystems...done.
Starting halt command: halt
md: stopping all md devices.
Synchronizing SCSI cache for disk sdb:
FAILED
  status = 1, message = 00, host = 0, driver = 08
  <6>sd: Current: sense key=0x5
  ASC=0x20 ASCQ=0x0
Synchronizing SCSI cache for disk sda:
FAILED
  status = 1, message = 00, host = 0, driver = 08
  <6>sd: Current: sense key=0x5
  ASC=0x20 ASCQ=0x0
ACPI: PCI interrupt for device 0000:07:00.1 disabled
ACPI: PCI interrupt for device 0000:07:00.0 disabled
Power down.
acpi_power_off called
-----

```

## NAM アプライアンスの設定の復元

FTP または HTTP を使用してアクセスできるリモート サーバの場所に NAM コンフィギュレーション ファイルを保存している場合、システムのリカバリ後に NAM コンフィギュレーション ファイルを復元できます。「設定のバックアップ」(P.6-1) と 「設定の復元」(P.6-2) を参照してください。